

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	売れる米づくり推進対策費					
担 当 課 係 名	農 林 課		農 務 係		作成者	草 薨 博 美
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち				総合計画の ページ
	基本計画	特色ある農業の振興				
	主要施策	付加価値農産物の生産				63
予 算 費 目	一般 会計	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	3 目 農業振興費		
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度		新規／継続の区分		継続	
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等						
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市内の農家
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	売れる米づくりを推進するため、有機米、減農薬・減化学肥料米の生産拡大を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	有機米、減農薬・減化学肥料米など付加価値農産物の生産販売を奨励し、産地化を図るとともに農業所得の確保に努める。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	栽培補助面積	畝	212.3	211.9
	成果指標	出荷数量	kg		
投下コスト	項 目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		2,474	2,478	
	財源内訳	国 庫 支 出 金			
		県 支 出 金			
		地 方 債			
		そ の 他			
		一 般 財 源	2,474	2,478	
	人 件 費 (B)	—	2,356	2,421	
		職 員 数	0.3	0.3	
		職 員 平 均 人 件 費	7,853	8,071	
単位コスト	(A) + (B) 投下コスト	—	4,830	4,899	
	活動指標1単位当たりコスト(円)	—	22,751	23,119	
	市民1人当たりのコスト(円)	—	151	156	

【事務事業の今までの成果】

当事業により若干ではあるが新規作付面積が拡大している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	大仙市、美郷町で同様の補助金あり。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	一般栽培米と区別した販売ができるので、補助金を継続してほしい。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	新規拡大分と継続分に補助しているが、この事業が始まって3年経過しており、継続分を今後どうするか検討の余地がある。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

有機米、減農薬・減化学肥料米などは通常の価格よりも60kg当たり1,000～2,000円高くなっており、今後は継続分を廃止し新規拡大分だけに補助したい。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	米どころ秋田でも米作の盛んな地域であり、付加価値農産物の奨励は必要なことであるが、今後の事業の実施については他の自治体と連携を図りながら、事業内容等について検討する必要があると考える。

一次評価診断図

